

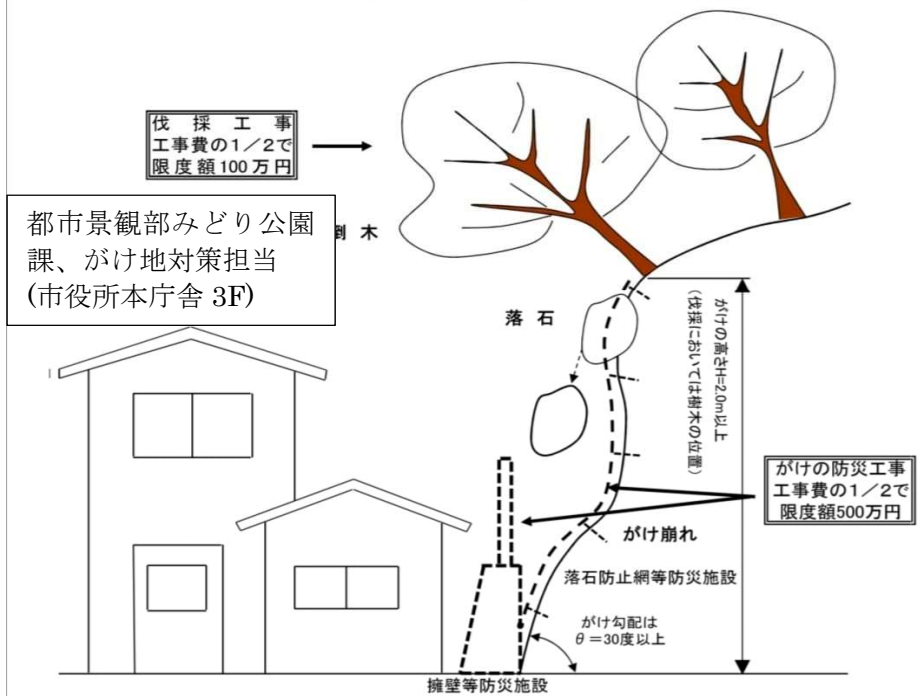
◆倒木・がけ崩れ…貴方の土地は大丈夫?事前対応で被害を食い止めましょう!

長嶋の笛田6丁目の実家近隣は、過去4回のがけ崩れにあります。しかし、ややこしいのは「がけ崩れの場所の土地所有者はだれか?」と言う事です。基本的には土地所有者が是正措置をする必要があります。

- 1.土地所有者が誰か?確認が必要←不明な場合は市役所にご相談下さい。
- 2.公有地は行政側による対応←長嶋実家近隣はこれ。しかし、中々動かない。
- 3.私有地は行政から地主へ是正指導を行う←地主さんによって違いが。

既成宅地等防災工事資金助成制度

がけ崩れ災害を未然に防ぐために、伐採・防災工事資金を助成します。

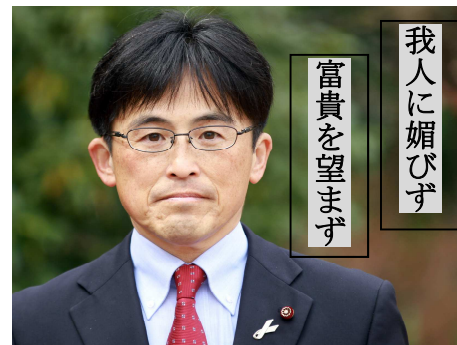


◆正常性バイアスに注意!

災害時経験したことのない事態に襲われても、正常性バイアスによって認識が妨げられ、「自分は大丈夫」、「まだ大丈夫」、と思い込んで、身を守る行動ができず逃げ遅れてしまう現状があります。少しオーバーに考えて頂き、早めの対応を取る事が貴方の命を守ります。

138号4期目5号(9月号)

鎌倉市議会議員・長嶋竜弘



富貴を望まず

我人に媚びず

稲村ヶ崎小学校⇒御成中学校
⇒茅ヶ崎高校⇒和光大学
さいかや、東急ハンズ、西友、道の
駅などで勤務。自転車整備士
災害復興交流団体鎌倉とどけ隊

メール:kamakurasi@gmail.com
住所〒248-0023 鎌倉市
極楽寺2-6-10-201 在住

◆津波対策…避難タワー?避難シェルター?どちらが実現可能か?

2018年高知県黒潮町津波避難タワーを市議会総務常任委員会視察で見してきました。

避難フロア高さ22m、広さ233㎡(230名収容)
階段140段、スロープ240m、想定浸水深18m
費用は5億9千万円(国県の補助金活用)
⇒確かに素晴らしい施設ですが鎌倉でできる?

- ・必要性のある場所に土地があるのか?
- ・公共用地が無い場合土地の購入が必要。
- ・景観等で近隣住民合意が必要。
- ・地盤の違いで費用は大幅に違ってくる。
- ・鎌倉市単独で予算措置して複数建設は無理。

⇒津波浸水想定が小さな地震の対応なら、もう少し小規模施設で済むので建設可能だと思われませんが、費用対効果は薄いと考えます。



↓↓↓ではどうする?

◆津波シェルターを設置する!

津波シェルター“CL-HIKARI”(ヒカリ)

- ・FRP製、耐荷重強度30トン
- ・幅1740、奥行900、高さ1000ミリ
- ・定員4名、80万円(税/配送料別)
- ・自動スイング機能で水上では基本的にハッチが上部になる。

他社で定員20名の物もあります。

倒木助成と同様にやれると思います



かながわ産業Navi大賞奨励賞

◆水害増加の要因は気候変動

気候変動により「地球環境は非常事態」です。2019年の台風被害、毎年の洪水被害、異常な猛暑、冬の大雪、等からも危機的になっているのがわかります。我々人類はいま目覚めて根本治療に向かわなければなりません。しかし、日本の環境意識は低く、世界から大きく遅れを取っています。

まずは皆様に地球環境の実態を知って頂きたい← 下記 QR ブログに掲載

◆では、気候非常事態、何すれば良い？

福島県本宮市さんが分かり易い取り組みを紹介されています。

※家庭でできる取り組み 10 項目(二酸化炭素の排出量削減)

01 冷房の設定温度を1℃高く、暖房の温度を1℃低く設定しましょう

⇒年間約 184 キログラムのCO2 の削減、年間で約 9,200 円の節約

02 週 2 日往復 8 キロメートルの車の運転を控えましょう

⇒年間約 184 キログラムのCO2 の削減、年間で約 9,200 円の節約

03 1 日 5 分のアイドリングストップを行いましょう

⇒年間約 39 キログラムのCO2 の削減、年間で約 1,900 円の節約

04 待機電力を 50% 削減しましょう

⇒年間約 60 キログラムのCO2 の削減、年間で約 3,400 円の節約

05 シャワーを 1 日 1 分家族全員が減らしましょう

⇒年間約 69 キログラムのCO2 の削減、年間で約 7,100 円の節約

06 風呂の残り湯を洗濯に使いましょう

⇒年間約 7 キログラムのCO2 の削減、年間で約 4,200 円の節約

07 ジャーの保温を止めましょう

⇒年間約 34 キログラムのCO2 の削減、年間で約 1,900 円の節約

08 暖房と照明の利用を 2 割減らす

⇒年間約 238 キログラムのCO2 の削減 年間で約 10,400 円の節約

09 買い物袋を持ち歩き、省包装の野菜を選びましょう

⇒年間約 14 キログラムのCO2 の削減、年間で約 800 円の節約

10 テレビ番組を選び、1 日 1 時間テレビ利用を減らしましょう

⇒年間約 14 キログラムのCO2 の削減、年間で約 800 円の節約

あくまでも参考です。無理せず継続してできる事を考えて下さい。



本宮市 HP



←気候非常事態の様々な情報リンクを掲載したブログ
2019/11/11



←気候非常事態宣言ブログ
2020/02/07

◆気候非常事態宣言に関する決議…賛成 12 名で原案可決！

2019 年 9 月定例会で「気候非常事態宣言に関する決議」を提案。

長嶋が以下決議文を作成いたしました。日本で2番目に行われた気候非常事態に関わる宣言で、議会としては全国初で、世界的に話題になりました。

気候非常事態宣言に関する決議

人類の活動を主な要因とする気候変動によって地球環境は劣化し、もはや持続可能とは言えず、我々の生活も脅かされている状態である。近年の異常気象による災害、熱中症・感染症の増加、農作物・生態系の変化などの実態を見れば、そのことを否定することは難しい。

温室効果ガス排出量は増加の一途をたどり、2018 年の二酸化炭素(CO2)排出量は、過去最高の約 331 億トンに達したことが、国際エネルギー機関(IEA)の報告書で明らかになった。

また、国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第5次評価報告書によれば、今世紀末の世界平均気温の変化は0.3~4.8度の範囲、平均海面水位の上昇は 0.26~0.82 メートルの範囲となる可能性が高く、地球に長期的な変化を及ぼしかねない危機的状況にあると言える。

このような状況の中、オーストラリア南東部の自治体デアビン市が2016年12月に初めて宣言してから、世界の地方自治体が「気候非常事態」を宣言し、包括的な行動計画を立案、実施する動きが燎原の火のごとく広がっている。

日本の自治体もこの動きに呼応するべきであると考え、本市議会は鎌倉市がSDGs未来都市として、下記のような国際基準を踏まえた「気候非常事態宣言」を行うよう求める。

- 1 「気候危機」が迫っている実態を全力で市民に周知する。
- 2 温室効果ガスのゼロエミッションを達成することを目標とする。
- 3 気候変動の「緩和」と「適応」、「エシカル消費」の推進策を立案、実施する。
- 4 各行政機関・関係諸団体等と連携した取り組みを市民とともに広げる。

以上、決議する。

令和元年(2019年)10月4日

鎌倉市議会

もう、誰かがなんとかしてくれるだろうと言う状況ではありません。危機的状況です。「1 人の 100 歩より 100 人の 1 歩」。個々人ができる事を少しずつ皆でやる事が肝要です！